

## 情勢報告（令和7年9月分）

中央東農業振興センター 嶺北農業改良普及所

### ユズの有機栽培化に向けて先進地を視察しました ～J A高知県れいほく無農薬柚子部会 馬路村視察研修～



視察研修の様子

J A高知県れいほく無農薬柚子部会では有機栽培化に向けた取組を進めており、普及所はこれを支援しています。9月2日には、普及所の立案・調整により馬路村での研修を開催し、生産者13人、関係機関職員5人が参加しました。

研修では馬路村農協組合長からの説明で「有機循環農法」の取組などを学んだのち、同農協営農指導員による園地での説明では同村で行われている有機栽培の管理技術を学びました。

参加者からは農家への支援策についてなど様々な質問が出されたほか、有機栽培の推進には生産者と関係機関が一体となり取り組む必要があるとの意見も出されました。

今後も普及所は生産者や関係機関と連携して取組を推進していきます。

### 地域の農業を守るために ～本山町・土佐町集落営農組織ヒアリング～



ヒアリングの様子

9月1, 8, 11, 16日の4日間、普及所は役場と一緒に、本山町と土佐町にある集落営農組織10組織に対してヒアリングを行いました。

ヒアリングでは、令和6年度の活動実績や、現状の課題について聞き取り、各組織ともに、次の担い手がないことや、機械の更新が大きな課題となっていました。

そのため、次の担い手の候補者選びや、退職後戻ってこられた人に作業や技術をどのように継承していくなどを助言指導しました。

普及所は、今後も地域の農業を守る組織として活動していけるように集落営農組織を支援していきます。

### 優良種子の供給に向けて ～水稻 採種ほ場審査～



ほ場審査の様子

普及所は、20haを超える嶺北各地域の水稻採種組合のほ場審査に審査員及び審査補助員として普及指導員等を派遣しています。今年も8月から9月にかけて、のべ37名が関係機関・職員とともに審査を行いました。

当日は、異品種の混入及び病虫害や雑草の発生状況を確認し、採種ほ場として適切であるか審査しました。生産者から、天候の影響を受け例年と違う育ち方をしていると話があり、イレギュラーな状況下でも真摯に栽培に向き合っている様子をうかがうことができました。

普及所は、優良種子の安定供給を目指し、今後も関係機関と協力しながら栽培指導・審査協力を行っていきます。

大阪で生産者による試食宣伝を開催！  
～カラーピーマンと米なすの試食宣伝～



高知県フェアの様子

8月26日(火)に、大阪府天王寺区にあるサンフレッシュ近鉄上本町店で高知県フェアが開催され、JA れいほく園芸部が参加しました。

普及所は関係者間の連絡調整や試食メニューの提案を行い、当日は米ナスとカラーピーマンを中心に高知県産野菜が並ぶ売り場で、生産者とともに試食宣伝を行いました。

「米ナスのタタキ」と「カラーピーマンのマリネ」を試食提供し、お客様からは「カラーピーマンは、ピーマンより甘いし彩りがきれい！」などと好評でした。また、生産者からは消費者に生産現場の生の声を伝えることもできました。

普及所は今後も、安定出荷に向けた栽培管理指導を行うとともに、れいほく八菜のPR活動を支援していきます。